

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	卒業研究Ⅰ	高山 有紀	2年次	春

授業のキーワード	教育史、学校文化、教育問題
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	日本の教育の歴史を概観し、その上に立つ現代の教育と、教育をとりまく状況について、いくつかの項目によりながら理解します。また、ゼミ論文のテーマを決定します。
履修のアドバイス・前提科目等	日本の文化・社会を、「教育」という視点から捉える試みによって、日本についてより深く理解することができるでしょう。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。自己紹介。	第9講	ゼミ論文の題材を吟味する	各自のゼミ論文のテーマに沿って、章立てを考えます。
第2講	教育政策の現状	現在進められている教育政策の状況について学びます。	第10講	ゼミ論文の準備	各自のゼミ論文の構想を練ります。
第3講	教育政策の現状	現在進められている教育政策の状況について学びます。	第11講	ゼミ論文の準備	各自のゼミ論文の構想を練ります。
第4講	教育の歴史をふりかえる	教育の現況にもとづきながら、日本における教育の歴史について概観します。	第12講	ゼミ論文の準備	ゼミ論文について互いに構想を発表し、意見交換をします。
第5講	教育の歴史をふりかえる	教育の現況にもとづきながら、日本における教育の歴史について概観します。	第13講	ゼミ論文の準備	ゼミ論文について互いに構想を発表し、意見交換をします。
第6講	教育の歴史をふりかえる	教育の現況にもとづきながら、日本における教育の歴史について概観します。	第14講	まとめ	総括の後論文の書き方の基本について指導し、ゼミ論文の一部を実際に書き始めてみます。
第7講	中間のまとめ	前講までの学習内容を総括します。ゼミ論文の題材について、素案を持ち寄ります。	第15講	試験	
第8講	ゼミ論文の題材を吟味する	各自のゼミ論文のテーマ(案)を参考にしつつ、教育の歴史や教育問題の現況について補足的に講義します。	評 価 方 法		授業への取り組み(30パーセント)、課題に対する評価(70パーセント)により総合的に評価する。
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
			門脇厚司『社会力を育てる—新しい「学び」の構想—』(岩波新書) 橋本健二『「格差」の戦後史—階級社会 日本の履歴書—』(河出ブックス) 小山静子『子どもたちと近代—学校教育と家庭教育—』(吉川弘文館)		